

第2版はしがき

そもそも教科書を買わない、買ったとしても重いので授業に持ってこない、持ってきたとしても読み通さずに該当部分を眺めるだけ——こうした学生のみなさんの学習習慣を変えられないだろうか、という思いから本書を2016年に出版した。おかげさまで「安い」、「軽い」、そして「薄い」という本書のコンセプトは少なくとも勤務先では好意的に受けとめられた。

しかし、本書の出版から5年が経過し、省庁再編以降に生まれた学生のみなさんを相手に講義をする度に、取り上げる事例を新しいものに入れ替えたりデータを更新したりしないと学習に堪えないと感じることが多くなった。また、本書の出版後に、文部科学省の再就職あっせん事案（2017年）、厚生労働省をはじめとする統計不正事案（2018～2019年）および総務省の放送法外資規制違反事案（2021年）の調査や報告書作成に関与することとなり、その経験を踏まえた改訂をしたいという思いも抱くようになった。

そこで、コロナ禍のステイ・ホーム期に一念発起して、法律文化社編集部の畑光氏および八木達也氏の手を煩わせつつ本書を改訂することにした。**第1章、第3章、第4章、第6章および第8章**は新たに書き下ろしたほか、それ以外の章でも加筆・修正を行っている。上述したコンセプトはできる限り変えずに本書の初版をリニューアルしたつもりだが、この間に本書の書評等を通じて賜ったコメントに応えることができなかつたところも多い。引き続き読者のご寛恕を請う次第である。

自らの至らなさを痛感する改訂作業において唯一の救いは、本書の初版の校正にも協力してくれた山田健氏（獨協大学特任助手）の研究者としての成長が感じられたことであった。本書の改訂が成功しているとすれば、それは山田氏による的を射たコメントのおかげである。また、お名前を掲げることは差し控えるが、今回の改訂にあたっては励ましの声をかけてくださった方々にこの場を借りて深甚の謝意を表したい。